

# 神奈川県の中世遺跡（2）

中世研究プロジェクトチーム

## はじめに

本プロジェクトチームでは、近年発掘調査が盛んな厚木市・伊勢原市・秦野市などの県央から県西部にかけての地域で、中世の遺構や遺物を目にする機会が増え、資料数も著しく増加していることを実感している。そのため、昨年度からこの県央地域の中世遺跡を検討することとした。

検討作業の第一歩として、県内の中世遺跡の現状を把握するため、発掘調査成果の集成を行った。昨年度は、(1)として秦野市・厚木市・大和市・伊勢原市・海老名市・座間市・綾瀬市の中世遺跡を集成し、『研究紀要 21』に掲載した。今年度はその続きとして、相模原市・愛甲郡を取り上げる。また、県央地域の様相を比較検討するため、横浜と湘南地域の集成も行った。

## 例言

1. 神奈川県内の県央地域については、明確な地域区分があるわけではない。今回は、相模原市・愛甲郡の集成を行い、横浜市・藤沢市・茅ヶ崎市の一部も掲載する。
2. 基礎データの集成には、平成 27 年 3 月までに刊行された発掘調査報告書を基本とし、それ以外の書籍については、情報入手可能な範囲でデータに加えることとしている。
3. 集成表の項目はこれまでと同じであり、以下のとおりである。
  - (1) 遺跡名：発掘調査報告書（以下、報告書とする）に記載されている名称を原則とするが、現行の神奈川県埋蔵文化財包蔵地台帳に基づき、文献とは異なる名称を使用した遺跡もある。
  - (2) 所在地：報告書に記載されている住所・番地を記載した。合併による変更は新市町村に含めている。ただし、報告書の記載を優先し、新住所・新地番への変更は行っていない。複数にまたがる場合は、代表と思われる番地を記載した。
  - (3) 遺跡の種別：報告書の抄録に記載された種別を原則とするが、抄録がないものや中世の成果と異なる場合は、内容に応じて変更した。
  - (4) 立地環境：報告書の該当部分を要約した。
  - (5) 遺跡の概要：報告書の調査成果を要約した。
  - (6) 年代：報告書の年代表記を原則とするが、現行の遺物編年により、西暦年代（○世紀）で表記できる場合は（ ）付で記載した遺跡がある。
  - (7) 文献：巻末の参考文献と対応している。
  - (8) 集成した事例（特に、溝や溝状遺構）の中には、覆土の特徴（宝永火山灰を含まない等）や大窯期以降の瀬戸・美濃製品（器種の消長期間が長く、破片からは時期の特定困難）が出土したことにより、中世として報告されたものがある。中世以外の時期も含んでいると推測されるが、集成の対象としている。

## 相模原市

第 1 表 神奈川県県央（相模原市・愛甲郡）・横浜・湘南地域における中世遺跡一覧表

遺跡名	所在地	遺跡の種類	立地環境	遺跡の概要	年代	文献
橋本遺跡	元橋本町・橋本七丁目	集落跡	台地	中世～近世にかけての集落の一部と推定される遺構群を検出。	14c～16c代	1
新戸遺跡	新戸2607番の2他	集落跡	台地上	農村的な規模をもつ掘立柱建物が多数検出されている。	13c末～15c初頭	2
古淵B遺跡	古淵1683番地3他	集落跡	台地	中世～近世の土坑と井戸が1基ずつ発見され、16～17世紀にか けた遺構面が確認されている。	16c代	3
川尻遺跡	城山町川尻字谷ヶ原792-2他	集落跡	台地上	旧石器時代～近世にかけて遺構・遺物が確認されているが、中世 遺構は土坑4基の検出だけである。	中世前期	4
大地開戸遺跡	津久井町大字青野原字大地開 戸	墓、 集落跡	河岸段丘上	中世後半期の土壌墓2基を検出し、銅銭が出土している。	中世後半	5
明日庭遺跡	津久井町大字青野原字明日庭	集落跡	河岸段丘上	中世と思われる土坑とピットを検出。	中世末	6
大地遺跡	津久井町大字青野原字大地	墓、 屋敷地	河岸段丘上	中世末の屋敷地を1/3程検出。	中世末	7
青山開戸遺跡	津久井町青山3179-3外	集落跡	河岸段丘上	縄文時代中・後期の集落が確認され、中世には土坑が少数検出さ れている。	15c～16c代	8
当麻谷原遺跡	当麻谷原230-4ほか	集落跡	台地	平安時代の集落が確認され、中世では土坑4基を確認。	中世	9
田名坂上遺跡第6地点	田名1268番2外	集落跡	段丘上	上屋構造を伴うと推定される堅穴建物が検出されている。	中世	10
津久井城跡	津久井町根小屋字城坂346付近	城館跡	山地、河岸段丘	城坂曲輪の堅堀が発見され、小単位の複数の堀を連結させてい る機能をもつ。	中世	11
津久井城跡	津久井町根古谷字城山370-1、 太井字癸1301-1地内	城館跡	段丘面	16世紀戦国時代の津久井城山城部の中心郭となる米曲輪から本 城曲輪への入口で石敷の道等が発見された。	16c代	12
津久井城跡	小倉字馬込135-1・127-2外	集落跡、 古墳	段丘面	中世戦国期に大規模な堀や土塁を伴う曲輪などが築かれ、防衛 拠点であった可能性が考えられている。	16c代	13
津久井城跡（本城曲輪群地区）	津久井町太井字癸1301他、根 小屋字城山370-8他	城館跡	山地	米曲輪から本城曲輪へ通じる虎口で、階段状遺構や折れ曲がる 石敷きの通路が発見された。	中世後半	14
津久井城跡（本城曲輪群地区）	津久井町太井字癸1301他、根 小屋字城山370-8他	城館跡	山地	過去の調査で検出された石組・石列遺構の延伸を確認し、門跡と 考えられる礎石建物が検出された。	中世	15
上溝甲七号遺跡第6地点	中央区上溝字甲七号1887番1	-	台地	縄文時代早期・中期遺物包含層を確認、中世の柵列状柱穴群が発 見されている。	中世前期	16
当麻遺跡第1地点・相模原市 No.188遺跡	南区当麻109-1他、96-1他	集落跡	河岸段丘上	中世では小規模な溝状遺構と掘立柱建物3棟、僅かな遺物が出土 した。	中世	17
小保戸遺跡	緑区小倉地先	墓、 集落跡	河岸段丘上	中世は長大な溝状遺構や地下式坑等が主に検出され、墓坑から は刀子と古銭の出土などを発見している。	16c以前～16c代	18
津久井城跡荒久地区	緑区根小屋440番2外	城館跡、 散布地	山地斜面	縄文時代早期中心の遺構群、中世では津久井城の城郭遺構など を確認。	14c後半～16c後半	19

## 愛甲郡

遺跡名	所在地	遺跡の種類	立地環境	遺跡の概要	年代	文献
北原 (No.9) 遺跡内長福寺址	清川村大字宮ヶ瀬字北原 1159 番地他	社寺、集落跡	段丘面	近世の寺域址以下層に中世の屋敷跡がⅢ期確認されている。	13c末～15c前半、16c中頃	1
宮ヶ瀬遺跡群馬場遺跡 (No.6)	清川村	集落跡	河岸段丘上	16世紀末以降～近世にかけての遺構が大半であるが、中世期に属する遺構も一部想定されている。	中世後半	2
宮ヶ瀬遺跡群馬場遺跡 (No.3)	清川村	集落跡	河岸段丘上	山裾の屋地として活用されていたと想定される土坑・土壇墓より中世遺物が確認されている。	13c～14c代、15c中頃～16c代	3
宮ヶ瀬遺跡群北原遺跡 (No.10)	清川村	集落跡	河岸段丘上	屋敷地が確認され中世末から存続が考えられているが、中世に属する遺構は少数である。	中世末	4
宮ヶ瀬遺跡群馬場遺跡 (No.7)	清川村	集落跡	河岸段丘上	中世に属する遺構・遺物は少数で、中世～近世にかけての屋敷地と推定される遺構群が検出されている。	15～16c代	5
宮ヶ瀬遺跡群表の屋敷遺跡 (No.8)	清川村	集落跡	河岸段丘上	戦国時代の方形館及びその一族の墓所が明らかになり、Ⅶ期中Ⅰ～Ⅲ期が中世期に属する。	13c～16c	6
煤ヶ谷古在家遺跡	清川村煤ヶ谷字古在家地内	その他	河岸段丘上	15世紀～江戸時代にかけて3面を検出しており、中世から構築された段切り状遺構等が確認されている。	15c～16c代	7

## 横浜市

遺跡名	所在地	遺跡の種類	立地環境	遺跡の概要	年代	文献
長昌寺前横穴群	金沢区富岡町 1970	寺院	小丘陵先端部の北斜面	5基の横穴群の西側に、傾斜面を隅丸長方形に削り込み五輪塔を据えた遺構を検出。	14世紀～15世紀?	1
駒岡遺跡A地点(八千代田古墳群)	鶴見区駒岡町 1255～1269	古墳	小丘陵の北端部	丘陵の西側斜面に穿たれた3基の横穴転用の中世墓。	中世	2
歳勝土遺跡	港北区大柵町 639・646	集落	早渕川中流域左岸台地南側斜面	火葬墓が1基確認され、計3個の骨蔵器が埋設されていた。	13～14世紀	3
六浦北部遺跡	金沢区六浦 1771 外	やぐら	六浦駅北の丘陵上	4種に分類されるやぐら22基と竪坑跡2基が確認された。	中世	4
本牧荒井やぐら	中区本牧荒井 61 番地	やぐら	台地崖面	やぐら1基が存在。納骨穴6ヶ所が確認。納骨穴内に火葬骨が確認された。	中世	5
坂本遺跡	戸塚区上矢部町字坂本 2859 番 6	集落	阿久和川右岸の台地上	地下式坑が確認された。	中世	6
殿屋敷遺跡群C地区	港南区下永谷字角田 576 他	集落	丘陵の先端	尾根頂上部に溝状遺構が1条確認された。	16世紀後半	7
受地だいやま遺跡	緑区奈良町 270 外	集落	奈良丘陵のほぼ中央部	主屋と付属屋・倉庫からなる掘立柱建物、溝状遺構、井戸、土坑や地下式坑、鍛冶関連遺構も確認された。	14世紀後半～16世紀後半	8

長光庵寺跡	緑区十日市場町1241外	寺院	台地上	地下式坑と周辺に分布する20基前後の土壌群が確認された。その他、堅穴状遺構、掘立柱建物。	14世紀～16世紀	9
釜利谷やぐら遺跡	金沢区釜利谷1574番1外	やぐら	金沢八景駅西の丘陵崖裾	やぐらと地下式坑が確認される。やぐらは、後世の掘削が著しい。	中世	10
泥牛庵脇やぐら群	金沢区六浦1丁目	やぐら	崖面	やぐら5基が確認された。	中世	11・12
三枚町遺跡	神奈川区三枚町109外	集落	台地の北端部	プランは隅丸長方形の火葬墓を確認。火葬骨片を検出している。	中世後期	13
観福寺北遺跡	緑区荏田329外	集落	台地東端	地下式坑、火葬墓、火葬址が確認される。	15世紀～16世紀	14
虚空蔵山遺跡	緑区荏田町319番1外	集落	早瀬川右岸、の丘陵端部	隅丸長方形で焼土・炭化物が覆土中に確認される堅穴状遺構が確認された。	中世	15
C16・17遺跡	港北区大鵬町353番1外	集落	高位台地	墓穴とみられる土壌が確認された。	11世紀?	16
旧長沢宅(F15)遺跡	港北区牛久保町1099外	集落	支谷に南面する山裾部	地下式坑、墓壙が確認された。	室町時代	16
川和19(～19)遺跡	緑区川和町1745・1803	集落	尾根	塚南斜面から板碑出土。塚の中央部に径1mの土壌状のものが確認された。	中世	16
矢崎山(リ12)遺跡	緑区荏田町4539付近	集落	低位台地・同斜面	地下式坑、墓壙が確認された。	16世紀代	16
茅ヶ崎城	港北区茅ヶ崎町656(現都筑区茅ヶ崎東2丁目)	城郭	斜面末端の急崖	6つの郭と根小屋地区で構成される城郭。	15世紀後半が下限	17-20
雪見塚(ル14)	港北区新吉田町6060付近	塚	高位台地	土取り工事により削平されたが、直径10m前後、高さ2m前後と推測される。頂上付近から拳大の石と蔵骨器が出土。	16世紀	16
中村宮ノ谷遺跡	泉区岡津町字宮ノ谷2598	集落	緑園都市駅の南方	丘陵肩部を縦断する溝状遺構が確認された。	14～15世紀	21
上の山遺跡	緑区大熊町881～892番地	集落	大熊川の左岸小舌状台地	西中世墓地と東中世墓地が確認され46基の墓壙、積み石遺構が確認された。その他、溝状遺構・地業面が確認された。	14世紀前半～15世紀後半	22・23
老馬遺跡	港北区中川町3丁目	集落	早瀬川上流の左岸の舌状台地上	堅坑、前室、後室からなる地下式坑が確認された。	中世	24
北川貝塚南遺跡	都筑区早瀬3丁目5048外	貝塚	低位台地の基部	隅丸長方形プランの土坑が確認された。台地縁辺部を段切り状に削平した部分に小ピット群とともに集中。	中世以降	25
関耕地遺跡	緑区荏田字関耕地231外	集落	台地東端	地下式坑2基と未完掘の地下式坑と考えられる堅坑が確認される。	中世	26
宿根北遺跡	緑区東本郷6丁目1199番1外	集落	鶴見川右岸の河岸段丘上	隅丸長方形の土坑が確認された。	中世後期	27
六浦大道やぐら群	金沢区大道1丁目3312外	やぐら	丘陵の南向き縁辺	やぐらが15基が確認された。全体的に遺存状態が悪い。	15世紀後半～16世紀前半	28
中ノ宮遺跡	泉区和泉町3154	集落	中位段丘面	4ヶ所の道状遺構や溝状遺構が確認された。道状遺構は鎌倉道に関係する可能性が報告されている。	中世	29
西ノ谷遺跡	都筑区南山田2丁目1～4	集落	多摩丘陵と下末吉台地の接点	谷中央部に平場を造成して建物址(堅穴)・土坑・鍛冶炉・溝状遺構・地下式坑を構築している。	13世紀	30
上行寺東やぐら群	金沢区六浦2丁目2番18	やぐら	上行寺境内の西側墓地内	やぐら2基が確認された。	中世前期後半	31

釜利谷やぐら群	金沢区釜利谷南2丁目44番8	やぐら	小谷戸の東側崖面	やぐら10基が確認される。1・2号窟は谷戸の最北に位置し、その他は谷戸の東側に位置する。	中世	31
釜利谷東6丁目西地区やぐら群	釜利谷東6丁目	やぐら	金沢文庫駅から西へ約1.3km	やぐら10基が確認される。近世以降の丘陵裾部の開削等により、残存状況は良くない。	中世	32
宿根南遺跡	緑区東本郷6丁目1193-1他	集落	鶴見川中流域の右岸段丘上	堅穴状遺構、土坑、土坑墓、溝状遺構、ピットが確認された。土坑墓内からは馬骨及び歯が出土した。	中世	33
宿根西遺跡	緑区東本郷6丁目1261-2他	集落	鶴見川中流域の右岸段丘上	土坑、溝状遺構、道状遺構、柱穴群が確認された。	中世以降	34
中ノ宮北遺跡	泉区和泉町3217	集落	中位段丘面	道状遺構、溝状遺構、土壇、ヒット群が確認された。道状遺構は鎌倉道に關係する可能性が報告されている。	中世以降	35
瀬戸町やぐら群	金沢区瀬戸町10	やぐら	金沢八景駅北西の丘陵の東端	やぐら9基が確認される。第5号やぐらの玄室床面から常滑窯大甕を利用した埋葬遺構が確認される。	中世	36
六浦三艘地区やぐら群	金沢区六浦町1182、1186	やぐら	丘陵の枝群に位置	やぐら2基が確認された。	中世	37
釜利谷東6丁目西地区やぐら群	釜利谷東6丁目40付近	やぐら	金沢文庫駅から西へ約1.3km	やぐら22基が確認された。	中世	38
上行寺裏遺跡(瀬戸21番地やぐら群)	金沢区瀬戸21番3	やぐら	金沢八景駅の北西側に位置	やぐら6基が確認された。	中世	39
上台の山遺跡	都筑区仲町台3丁目12付近	集落	大熊川左岸の小舌状台地上	台地の南端の南西斜面に方形環濠墓があり、掘り込みから計4個の蔵骨器が埋設されていた。	13世紀前半	40
上行寺東やぐら群	金沢区六浦2丁目4195外	やぐら	平潟湾に突き出した丘陵端部。	大きく上中下三段にわたって遺構が分布。	14世紀中頃～16世紀初頭以降	41
寺下遺跡	青葉区大場町103番1外	集落	丘陵の南端部	火葬墓を主とする二つの中世墓群。北側中世墓群は12基、南側中世墓群は15基が確認された。	13世紀後半～15世紀	42
笠間中央公園遺跡	栄区笠間町794外	集落	丘陵上北側縁辺	掘立柱建物、堅穴状遺構、14世紀代のかわけを出土した溝状遺構、道状遺構、火葬址が確認された。	14世紀	43
称名寺境内旧伽藍跡	金沢区金沢町212番	寺院	金沢文庫駅の東側	基壇、礎石、地業面、水路、玉石面等称名寺の境内に關係する遺構が確認された。	14世紀	44
白幡浦島丘遺跡	神奈川区白幡東町3丁目10番8外	やぐら	入江川の右岸の台地上	地下式坑、井戸址が確認された。	中世	45
史跡称名寺境内旧伽藍跡	金沢区金沢町212番地外	やぐら	金沢文庫駅の東約0.7km	やぐら1基が確認された。	中世	46
桂台北遺跡	栄区公田町1575番地2他	集落	台地上	掘立柱建物1棟と段切状遺構を確認した。	中世	47
杉田東漸寺貝塚	磯子区杉田1丁目8番1	貝塚	根岸湾に臨む沖積低地	火葬址や平面形は概ね楕円～不整形円形が主の土坑が確認された。	15～16世紀	48
西見谷遺跡	戸塚区上倉田町1146-14外	集落	丘陵上	3基の塚が直線距離で約80m離れて確認された。中世以降の溝状遺構も3状確認された。	中世	49
川和中村A遺跡	都筑区川和町1836番6～1281番3	集落	谷本川左岸の沖積地	堅穴状遺構、溝状遺構、段切遺構、井戸址、土坑、ピットが確認された。	中世以降	50
六浦大道遺跡	金沢区大道1-30-1	集落	三浦丘陵に挟まれた沖積低地上	土地区画に關連する溝状遺跡、切石状遺構が確認された。	中世	51・52
新羽南遺跡	港北区新羽町964番地2外	集落・古墳	丘陵	文明9(1477)年の長尾景春の乱の時に太田道灌により築かれた「亀甲山陣城」址に比定されている。	中世以降	53

釜利谷赤坂やぐら群	金沢区釜利谷東4丁目3867-1	やぐら	丘陵に挟まれた谷戸内	やぐら1基が確認された。	15世紀後半が下限	54
杉田東漸寺貝塚	都筑区勝田町760	貝塚	沖積低地	溝状遺構や地業面、墓1基が確認された。再葬された墓で明確な掘り込みは確認されなかった。	中世	55
上行寺裏遺跡(瀬戸14番地やぐら群)	金沢区瀬戸14-6	やぐら	谷戸	やぐら14基が確認された。1号やぐらの玄室床面から地下式坑の竪坑が造られている。	15世紀	56-58
立野遺跡	戸塚区舞岡町3048-1	古墳	丘陵上	中世～近世初頭の道路状遺構や塚が確認された。	中世末	59
光傳寺やぐら群	金沢区六浦3丁目3535-1	やぐら	金沢八景駅南西の丘陵上	やぐら12基が確認された。	中世	60
瀬ヶ崎和田山遺跡	金沢区六浦東1-275他	やぐら	平潟湾南側の丘陵斜面	やぐら2基が確認された。	中世	61
上行寺裏遺跡(六浦二丁目5番地やぐら)	金沢区六浦3848-1他	やぐら	金沢八景駅南側の丘陵崖面	やぐら13基と地下式坑2基が確認された。	中世	62・63
釜利谷東6丁目北地区やぐら群	釜利谷東6-3476-1	やぐら	丘陵	6基のやぐらを確認したが、川迫巢の開削を受け構築当初の状態は失われていた。	室町時代	64
上行寺裏遺跡(六浦二丁目3番地やぐら)	六浦二丁目4224	やぐら	丘陵の崖裾	やぐら2基が確認された。	中世	65
上飯田天神山古墳	泉区飯田町字天神山1072外	古墳	境川東岸大地縁辺	中世以降に古墳を塚として積み直し墓域として二次利用。土坑墓よりかわらけが出土。	13世紀～14世紀	66
坂本元屋敷やぐら群	釜利谷東7-176他	やぐら	丘陵尾根の末端	やぐら1基が確認された。玄室内に五輪塔、宝篋印塔が安置されていた。	中世	67
朝比奈町やぐら群	金沢区朝比奈町467番地1他	やぐら	北側丘陵裾	やぐら4基が確認された。後世の改変が著しい。	中世	67-69
瀬戸神社旧境内地内遺跡	金沢区瀬戸4503-5～4504-3	寺院	金沢八景駅の東側	地業面1ヶ所が確認された。	15世紀	70
寺尾城址	鶴見区馬場3丁目563番2外	城郭	台地上	15世紀後半代に構築された墓域と難壇状削平された郭状の平場、土塁の基部、南北に走る堀が確認された。	15～16世紀	71
上郷石原やぐら	栄区上郷町951-3	やぐら	馳川右岸の河岸段丘の裾部	やぐら2基が確認された。	中世	72・73

## 藤沢市

遺跡名	所在地	遺跡の種別	立地環境	遺跡の概要	年代	文献
大庭城址(第一次調査)	大庭字城山	城館	台地	出土遺物は少ない。	中世	1
大庭城址(第二次調査)	大庭字城山	城館	台地	壕内でかわらけ(完形)が出土。	15c～16c	2
西部215地点遺跡	遠藤滝ノ沢951番	耕作地集落	台地	遺構外から中世遺物が出土。	中世	3
代官山遺跡	長後1894	(耕作地)	台地(斜面)	溝は覆土から中世と推定。遺構外でかわらけが出土している。	中世	4



川名 849 番地横穴墓群	川名 849 番地	横穴墓	丘陵	やぐら転用。第1号～第3号横穴墓から中世遺物が出土。	14c～15c前半	5
高倉遺跡	高倉 968～2118 番	耕作地 集落	台地	土坑からかわらけ1点が出土。	中世以降 16c	6
大庭城址公園内遺跡	大庭 6264 番	城館	台地	大庭城の南西部斜面の調査。		7
西部 212 地点遺跡	大庭字二番構 5540 外	耕作地 集落	台地	2号溝から宋銭5点が出土。	中世	8
湘南藤沢キャンパス内遺跡	遠藤字刈込 5355 外	耕作地 集落	台地	土坑墓から中世遺物が出土。	中世後半 (15c～16c)	9
今田遺跡	今田 688 番-1	墓	台地	墓地から中世遺物が出土。	14c中～15c前半	10
渡内遺跡	渡内 582-1	城館	台地	玉縄城あるいは二伝寺砦に関連する遺構か。	中世	11
二伝寺砦遺跡	渡内 563 番地外	城館	台地	玉縄城あるいは二伝寺砦に関連する遺構か。	中世後半 (16c)	12
片瀬大源太遺跡	片瀬 1-1-1	集落	砂丘	遺構外から中世遺物が出土。	13c～15c?	13
No.112 遺跡	円行一丁目 12-3	耕作地 集落	台地	屋敷を囲む薬研堀状の溝を検出。	中世末	14
用田鳥居前遺跡	用田 655	耕作地 屋敷地	台地	溝から投棄されたかわらけ14枚が一括出土。	13c～14c 15c～16c	15
用田大河内遺跡	用田 1534	耕作地 屋敷地	台地	溝で区画された屋敷地。用田辻を中心とした中世集落の一部。	13c～16c	16
葛原滝谷遺跡・ 葛原下滝谷遺跡	葛原 1715, 1689	(耕作地)	台地	溝は覆土から中世と推定。	中世	17
用田南原遺跡	用田 541	耕作地 屋敷地	台地	溝は覆土から中世と推定。ピットからかわらけが出土している。	(15c)	18
用田鳥居前遺跡Ⅱ	用田 1552-10	耕作地 屋敷地	台地	出土遺物は少ない。道路状遺構は旧「中原街道」と推定。	中世	19
御弊山遺跡	藤が岡 1-4	集落	台地	遺構に伴う遺物は少ない。	16c～	20

茅ヶ崎市

遺跡名	所在地	遺跡の種別	立地環境	遺跡の概要	年代	文献
下町屋遺跡	下町屋3丁目	(耕作地)	砂丘 後背湿地	鶴嶺神社南方に位置する。中世の耕作地か。溝状遺構を検出。	16cか(宝永以前)	1
池袋C遺跡	小和田地内	不明	沖積地・台地	遺構の有無は不明。遺物はかわらけ・中世陶器が出土。	中世	2
流し面遺跡	松林(旧菱沼流し面)地内	不明	沖積地・台地	遺構の有無は不明。遺物はかわらけが出土。	中世	2

二図A遺跡	市内各所	不明	沖積地・台地	遺構の有無は不明。遺物は中世陶器が出土。	中世	2
巳待田B遺跡	小和田(巳待田)地内	不明	沖積地・台地	遺構の有無は不明。遺物は常滑が出土。	中世	2
臼久保A遺跡	芹沢(臼久保)4220他、行谷(広町)他	不明	沖積地・台地	遺構の有無は不明。遺物は常滑が出土。	中世	3
大谷C遺跡	芹沢(大谷)地内	不明	沖積地・台地	遺構の有無は不明。遺物は中世陶器が出土。	中世	3
長久保A遺跡	行谷(長久保)、(広町)、下寺尾(東方)、(北方)地内	不明	沖積地・台地	遺構の有無は不明。遺物はかわらけが出土。	中世	3
長久保B遺跡	行谷(長久保)、(広町)、下寺尾(東方)、(北方)地内	不明	沖積地・台地	遺構の有無は不明。遺物は常滑が出土。	中世	3
西方A遺跡	下寺尾地内	不明	沖積地・台地	遺構の有無は不明。遺物は中世陶器が出土。	中世	3
西方B遺跡	下寺尾地内	不明	沖積地・台地	遺構の有無は不明。遺物は常滑が出土。	中世	3
赤羽根二図B遺跡	赤羽根340	集落	自然堤防上	古代～近世の複合遺跡。	中近世	4
円蔵・下ヶ町A遺跡	円蔵2449ほか	集落	自然堤防上	中世主体の集落址。	中世	4
円蔵・鶴ヶ町遺跡	円蔵80ほか	集落	自然堤防上	主体は古代の集落。中世と断定できる遺構はない。	中世	4
下町屋石原A遺跡	下町屋2-3、4、5ほか	集落	自然堤防上	古代～近世の複合遺跡。	中世	4
西久保上ノ町・広町遺跡	西久保上ノ町1526ほか	集落	自然堤防上	古代～近世の複合遺跡。中世の遺構には、土壇・ピット・溝などがある。	中近世	4
西久保上ノ町遺跡	西久保上ノ町820～830ほか	集落	自然堤防上	古代～近世の複合遺跡。中世の遺構には、土壇・井戸・溝などがある。	中世	4
浜之郷石原A遺跡	浜之郷770ほか	集落	自然堤防上	主体は古代の集落。中世と断定できる遺構はない。	中世	4
浜之郷中谷遺跡	浜之郷313付近	集落	自然堤防上	古代～近世の複合遺跡。	中世	4
浜之郷宮ノ越・西ノ谷上遺跡	浜之郷506付近	集落	自然堤防上	古代～近世の複合遺跡。	中世	4
菱沼津戸田C遺跡	菱沼三丁目	集落	自然堤防上	弥生～中近世の複合遺跡。	中近世	4
本村前ノ田遺跡	本村四丁目10ほか	集落	自然堤防上	主体は古代の集落。中世と断定できる遺構はない。	中世	4
矢畑・金山遺跡	矢畑字金山91-1、92-3	集落	自然堤防上	中世主体の集落址。	中世	4
矢畑金山遺跡	矢畑34-2、3	集落	自然堤防上	古代～中世の複合遺跡。	中近世	4



## 神奈川県の中世遺跡（2）

### 相模原市

- 1 相模原市橋本遺跡調査会 1986『橋本伊遺跡Ⅷ 歴史時代編』橋本遺跡調査団
- 2 大上周三・御堂島正・砂田佳弘 1988『新戸遺跡 第2分冊』神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告 17 神奈川県立埋蔵文化財センター
- 3 相模原市古淵B遺跡発掘調査団 1990『神奈川県相模原市 古淵B遺跡 - 都市計画道路古淵麻溝台線改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 - 』相模原市古淵B遺跡発掘調査団
- 4 御堂島正・河野喜映・恩田勇 1992『川尻遺跡』神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告 23 神奈川県立埋蔵文化財センター
- 5 河野喜映・井澤純 1995『青野原バイパス関連遺跡』かながわ考古学財団調査報告 5
- 6 河野喜映・井澤純 1995『青野原バイパス関連遺跡』かながわ考古学財団調査報告 5
- 7 河野喜映・井澤純 1995『青野原バイパス関連遺跡』かながわ考古学財団調査報告 5
- 8 服部実喜・小川岳人 1997『青山開戸遺跡』かながわ考古学財団調査報告 29
- 9 迫和幸・中山豊 1999『当麻谷原遺跡発掘調査報告書 - 鉄塔建設工事（佐久間東幹線一部建て替え工事）に伴う事前調査 - 』相模原市No.189 遺跡発掘調査団
- 10 須藤あけみ・境雅仁 2007『相模原市田名坂上遺跡第6地点 - 相模原市田名1268番2外における埋蔵文化財発掘報告書』武相文化財研究所
- 11 近藤英夫・佐藤昌彦ほか 2009『津久井城』相模原市埋蔵文化財調査報告 38 相模原市教育委員会
- 12 加藤勝仁・相良英樹 2009『津久井城跡（本城曲輪群地区）』かながわ考古学財団調査報告 239
- 13 畠中俊明・澁谷正信ほか 2010『津久井城跡馬込地区』かながわ考古学財団調査報告 249
- 14 相良英樹・上村和直 2010『津久井城跡（本城曲輪群地区）』かながわ考古学財団調査報告 246
- 15 相良英樹・井関文明 2011『津久井城跡（本城曲輪群地区）Ⅲ』かながわ考古学財団調査報告 261
- 16 中山豊 2013『上溝甲七号遺跡 第6地点発掘調査報告書』玉川文化財研究所
- 17 大塚健一ほか 2013『当麻遺跡第1地点』かながわ考古学財団調査報告 287
- 18 戸羽康一ほか 2013『小保戸遺跡』かながわ考古学財団調査報告 288
- 19 河本雅人・鯉淵義紀・今野春樹 2015『津久井城荒久地区発掘調査報告書』相模原市埋蔵文化財調査報告 46 相模原市教育委員会

### 愛甲郡

- 1 市川正史・長谷川正 1993『宮ヶ瀬遺跡群Ⅲ』神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告 21 神奈川県立埋蔵文化財センター
- 2 鈴木次郎・近野正幸 1995『宮ヶ瀬遺跡群Ⅴ』かながわ考古学財団調査報告 4
- 3 富永樹之 1996『宮ヶ瀬遺跡群Ⅶ』かながわ考古学財団調査報告 9
- 4 市川正史・能嶋政義・鈴木次郎・恩田勇 1997『宮ヶ瀬遺跡群Ⅸ』かながわ考古学財団調査報告 15
- 5 市川正史・能嶋政義・鈴木次郎・恩田勇 1997『宮ヶ瀬遺跡群Ⅺ』かながわ考古学財団調査報告 17
- 6 近野正幸・恩田勇・谷口肇 1997『宮ヶ瀬遺跡群ⅩⅢ』かながわ考古学財団調査報告 19
- 7 小山裕之・中山豊・伊丹徹 2015『煤ヶ谷古在家遺跡 県道64号（伊勢原津久井）古在家バイパス工事に伴う発掘調査』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書 32 株式会社玉川文化財研究所

### 横浜市

- 1 井上義弘 1971「横浜市金沢区富岡町長昌寺前横穴群発掘調査報告」『昭和46年度横浜市埋蔵文化財調査報告書（Ⅲ）』横浜市埋蔵文化財調査委員会
- 2 井上義弘 1972『横浜市鶴見区駒岡遺跡群調査報告』横浜市埋蔵文化財調査委員会
- 3 須山幸雄 1975「歳勝土遺跡」『港北ニュータウンⅤ』横浜市埋蔵文化財調査委員会

- 4 岡崎文喜他 1982『六浦北部遺跡』六浦北部遺跡調査団
- 5 山本暉久 1983『横浜市中区本牧荒井地区発見の中世墓地調査報告』神奈川県埋蔵文化財調査報告 25 神奈川県教育委員会
- 6 小林義典 1985『坂本遺跡発掘調査報告書』坂本遺跡発掘調査団・松下電気上矢部グラウンド発掘調査団
- 7 田村良照 1985『殿屋敷遺跡群C地区発掘調査報告書』玉川文化財研究所
- 8 伊藤正義・荒川正明他 1986『奈良地区遺跡群Ⅰ発掘調査報告 No.11 地点 受地だいやま遺跡』下巻 奈良地区遺跡調査団
- 9 伊藤郭他 1986『長光庵寺跡』横浜市埋蔵文化財調査委員会
- 10 武部喜光・近江屋成陽 1987『釜利谷やぐら遺跡』釜利谷やぐら遺跡調査団
- 11 砂田佳弘 1987『泥牛庵脇やぐら群』神奈川県立埋蔵文化財センター・神奈川県土木部横浜治水事務所
- 12 長岡文紀 1988『泥牛庵脇やぐら群Ⅱ』神奈川県立埋蔵文化財センター・神奈川県土木部横浜治水事務所
- 13 高橋勝広他 1988『三枚町遺跡発掘調査報告書』県営三枚町団地予定地内遺跡発掘調査団
- 14 平子順一・鹿島保宏 1989『観福寺北遺跡・新羽貝塚発掘調査報告』横浜市埋蔵文化財調査委員会
- 15 近藤真佐夫 1990『虚空蔵山遺跡』日本窯業史研究所
- 16 横浜市埋蔵文化財センター 1990『全遺跡調査概要』『港北ニュータウンⅩ』横浜市埋蔵文化財センター
- 17 坂本彰 1991『茅ヶ崎城』横浜市教育委員会
- 18 坂本彰 1994『茅ヶ崎城Ⅱ』財団法人横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター
- 19 坂本彰 2000『茅ヶ崎城Ⅲ』財団法人横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター
- 20 鹿島保宏・鈴木重信 2006『茅ヶ崎城址埋蔵文化財本発掘調査報告書』財団法人横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター
- 21 呉地英夫 1992『中村宮ノ谷遺跡発掘調査報告書』中村宮ノ谷遺跡発掘調査団
- 22 坂上克弘他 1992『上の山遺跡』『港北ニュータウンⅩⅢ』横浜市埋蔵文化財センター
- 23 坂上克弘他 1992『上の山遺跡』横浜市埋蔵文化財センター
- 24 武井則道 1996『老馬遺跡』港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告 21 財団法人横浜市ふるさと歴史財団・横浜市教育委員会
- 25 鹿島保宏・鈴木重信・橋本昌幸 1997『晝屋の上遺跡・西谷戸の上遺跡・北川貝塚南遺跡』日本道路公団・財団法人横浜市ふるさと歴史財団
- 26 田村良照 1997『観福寺北遺跡群 閑耕地遺跡発掘調査報告書』観福寺北遺跡発掘調査団
- 27 小山裕之他 1997『宿根北遺跡発掘調査報告書』宿根北遺跡発掘調査団
- 28 鹿島保宏・鈴木重信 1997『六浦大道やぐら群発掘調査報告書』神奈川県横浜治水事務所・財団法人横浜市ふるさと歴史財団
- 29 平子順一・橋本昌幸・鈴木重信 1997『下飯田林・中ノ宮・草木遺跡発掘調査報告』財団法人横浜市ふるさと歴史財団
- 30 坂本彰他 1997『西ノ谷遺跡』港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告 23 財団法人横浜市ふるさと歴史財団・横浜市教育委員会
- 31 田代郁夫他 1998『中世石窟遺構の調査Ⅱ』東国歴史考古学研究所調査研究報告第15集 東国歴史考古学研究所
- 32 長谷川厚・小川岳人 1999『釜利谷東6丁目西地区やぐら群』かながわ考古学財団調査報告 63
- 33 北平朗久・中山豊 1999『宿根南遺跡発掘調査報告書』宿根南遺跡発掘調査団
- 34 中山豊・北平朗久 1999『宿根西遺跡発掘調査報告書』宿根西遺跡発掘調査団
- 35 鹿島保宏・鈴木重信 1999『中ノ宮北遺跡発掘町報告書』財団法人横浜市ふるさと歴史財団
- 36 長谷川厚・植山英史 2000『瀬戸町やぐら群・横穴墓』かながわ考古学財団調査報告 86
- 37 長谷川厚 2000『六浦三艘地区やぐら群』かながわ考古学財団調査報告 99
- 38 上田薫・植山英史 2000『釜利谷東6丁目西地区やぐら群(2次)』かながわ考古学財団調査報告 107
- 39 宮坂淳一・鈴木庸一郎 2001『上行寺裏遺跡(瀬戸21番地やぐら群)』かながわ考古学財団調査報告 124

神奈川県の中世遺跡（2）

- 40 坂上克弘 2002『上台の山遺跡』港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告 30 財団法人横浜市ふるさと歴史財団・横浜市教育委員会
- 41 小林義典 2002『上行寺東やぐら群遺跡発掘調査報告書』上行寺東やぐら群遺跡発掘調査団
- 42 渡辺務 2003『寺下遺跡』日本窯業史研究所
- 43 鹿島保宏他 2003『笠間中央公園遺跡発掘調査報告書』横浜市緑政局・財団法人横浜市ふるさと歴史財団
- 44 鹿島保宏・橋本昌幸 2003『史跡称名寺境内伽藍跡確認調査報告書』財団法人横浜市ふるさと歴史財団
- 45 櫻井真貴・中田英 2003『白幡浦島丘遺跡』かながわ考古学財団調査報告 152
- 46 鹿島保宏・橋本昌幸 2003『史跡称名寺境内旧伽藍跡確認調査に伴う埋蔵文化財調査報告』財団法人横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター
- 47 戸田哲也・坪田弘子 2004『桂台北遺跡発掘調査報告書』玉川文化財研究所
- 48 鈴木重信・平子順一 2004『杉田東漸寺貝塚発掘調査報告書』横浜市教育委員会・財団法人横浜市ふるさと歴史財団
- 49 鈴木重信・鹿島保宏・橋本昌幸 2004『西見谷遺跡発掘調査報告』横浜市道路局、財団法人横浜市ふるさと歴史財団
- 50 橋本昌幸・平子順一 2004『川和中村A遺跡』財団法人横浜市ふるさと歴史財団
- 51 吉田政行他 2004『六浦大道遺跡』かながわ考古学財団調査報告 169
- 52 井関文明他 2006『六浦大道遺跡Ⅱ』かながわ考古学財団調査報告 206
- 53 伊東甚吉 他 2006『新羽南遺跡 新羽南古墳発掘調査報告書』玉川文化財研究所
- 54 加藤勝仁・汐見一夫 2006『釜利谷赤坂やぐら群』かながわ考古学財団調査報告 197
- 55 鹿島保宏・橋本昌幸 2006『杉田東漸寺貝塚本発掘調査報告』横浜市教育委員会、財団法人横浜市ふるさと歴史財団
- 56 加藤勝仁・川嶋実佳子 2007『上行寺裏遺跡（瀬戸 14 番地やぐら群）』かながわ考古学財団調査報告 211
- 57 加藤勝仁・井関文明 2008『上行寺裏遺跡（瀬戸 14 番地やぐら群）Ⅱ』かながわ考古学財団調査報告 217
- 58 加藤勝仁・小西絵美他 2009『上行寺裏遺跡（瀬戸 14 番地やぐら群）Ⅲ』かながわ考古学財団調査報告 241
- 59 相原俊夫・香川達郎他 2007『立野遺跡発掘調査報告書』玉川文化財研究所
- 60 小林晴生・小林義典 2007『光傳寺北やぐら群発掘調査報告書』玉川文化財研究所
- 61 新開基史・吉田智哉 2008『瀬ヶ崎和田山遺跡』かながわ考古学財団調査報告 227
- 62 新開基史・鹿島保宏 2008『上行寺裏遺跡（六浦二丁目 5 番地やぐら群）』かながわ考古学財団調査報告 225
- 63 近藤匡樹・吉田映子 2009『上行寺裏遺跡（六浦二丁目 5 番地やぐら）Ⅱ』かながわ考古学財団調査報告 234
- 64 滝澤亮・菊池良之 2009『釜利谷東 6 丁目北地区やぐら群』株式会社盤古堂
- 65 井関文明 2009『上行寺裏遺跡（六浦二丁目 3 番地やぐら）』かながわ考古学財団調査報告 233
- 66 滝澤亮・浅賀貴広 2010『上飯田天神山古墳』株式会社盤古堂
- 67 小川岳人 2011『朝比奈町やぐら群・坂本元屋敷やぐら群』かながわ考古学財団調査報告 270
- 68 宮坂淳一 2012『朝比奈町やぐら群Ⅱ』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書 2 かながわ考古学財団
- 69 横山太郎他 2013『朝比奈町やぐら群Ⅲ』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書 8 吾妻考古学研究所
- 70 鹿島保宏 2013『瀬戸神社旧境内地内遺跡』公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団
- 71 小山裕之・小林晴生・前川昭彦 2013『寺尾城址』玉川文化財研究所
- 72 石川真紀 2013『上郷町石原やぐら』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書 12 玉川文化財研究所
- 73 石川真紀 2013『上郷町石原やぐら群第 2 次調査』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書 16 玉川文化財研究所

藤沢市

- 1 奥田直栄・大三輪龍彦 1968『第一次大庭城址発掘調査概報』藤沢市西部開発事務局
- 2 奥田直栄・大三輪龍彦 1969『第Ⅱ次大庭城址発掘調査概報』藤沢市西部開発事務局
- 3 寺田兼方・澤田大太郎ほか 1983『藤沢市西部開発地域内埋蔵文化財発掘調査報告書 西部 215 地点遺跡』同地内埋蔵文化財発掘調査団

- 4 上田薫・砂田佳弘・宍戸信悟・大上周三・中田英 1986『代官山遺跡』神奈川県埋蔵文化財センター調査報告 11
- 5 寺田兼方・藤原直人 1987『藤沢市川名 849 番地横穴墓群発掘調査報告書』川名 849 番地横穴墓群発掘調査団
- 6 秋山重美・相原俊夫 1990『高倉遺跡発掘調査報告書』高倉遺跡発掘調査団
- 7 加藤信夫 1991『大庭城址公園内遺跡発掘調査報告書』大庭城址公園整備事業区域内埋蔵文化財発掘調査会
- 8 寺田兼方・澤田大太郎ほか 1992『藤沢市西部開発地域内埋蔵文化財発掘調査報告書 西部 212 地点遺跡』同地内埋蔵文化財発掘調査団
- 9 辻 真人・岡本孝之 1992『湘南藤沢キャンパス内遺跡 第 4 巻』慶應義塾藤沢校地埋蔵文化財調査室
- 10 秋山重美・麻生順司 1992『今田遺跡発掘調査報告書』今田遺跡発掘調査団
- 11 秋山重美 1993『渡内遺跡発掘調査報告書』渡内遺跡発掘調査団
- 12 秋山重美・麻生順司 1996『二伝寺砦遺跡発掘調査報告書』二伝寺砦遺跡発掘調査団
- 13 寺田兼方 1997『片瀬大源太遺跡発掘調査報告書（ミネベア藤沢製作所内）』大源太遺跡発掘調査団
- 14 大坪宣雄 2000『藤沢市No.112 遺跡発掘調査報告書』藤沢市No.112 遺跡発掘調査団
- 15 栗原伸好・新開基史・中田英・葉山俊章・天野賢一 2002『用田鳥居前遺跡』かながわ考古学財団調査報告 128
- 16 栗原伸好・新開基史・中田英・葉山俊章・天野賢一 2002『用田大河内遺跡』かながわ考古学財団調査報告 167
- 17 新開基史・栗原伸好・天野賢一・中田英・畠中俊明・葉山俊章 2003『葛原滝谷遺跡・葛原下滝谷遺跡』かながわ考古学財団調査報告 151
- 18 栗原伸好・中田英・葉山俊章・天野賢一・新開基史 2004『用田南原遺跡』かながわ考古学財団調査報告 168
- 19 新開基史・中田英・吉田政行・永井淳 2004『用田鳥居前遺跡Ⅱ』かながわ考古学財団調査報告 185
- 20 宮井香・飯塚美保 2006『御弊山遺跡』かながわ考古学財団調査報告 202

#### 茅ヶ崎市

- 1 日野一郎ほか 1976『神奈川県茅ヶ崎市下町屋における緊急調査の記録』下町屋遺跡発掘調査団
- 2 茅ヶ崎市教育委員会 1980『昭和 53 年度 茅ヶ崎市遺跡分布調査報告（松林地区・茅ヶ崎地区・小出地区）』
- 3 茅ヶ崎市教育委員会 1981『昭和 54 年度 茅ヶ崎市遺跡分布調査報告（小出地区・鶴嶺地区）』
- 4 茅ヶ崎市教育委員会 1992『第 3 回茅ヶ崎市遺跡発表会 発表要旨』